



関のまんなかは「こども・若者」です 照会先 子ども家庭課 ☎23-7119 ～こどもまんなか社会を目指して～

こどもたちが安心してのびのびと過ごせる社会。それが「こどもまんなか社会」です。

こども・若者を取り巻く環境は時代の急速な変動とともにめまぐるしく変化し、その結果生じたさまざまな困難や新たな課題に対応できずにいるこども・若者が増えています。

こども・若者が安心して自分の意見や考えを声に出し（意見表明）、自分自身で選び、決定していき（自己選択・自己決定）、自分らしく生きること（自己実現）を社会全体で後押しすることが大切です。

その際には、声を上げにくい状況にあるこども・若者への配慮も欠かすことはできません。

市が目指すこどもまんなか社会は、こども・若者の今とこれからの最善の利益を一番に考える社会です。こども・若者、子育て当事者の視点を尊重し、意見を聴き、対話をしながら共に進めていきます。

『関市こどもまんなか計画』を策定しました

【基本理念】 「笑顔と幸せにあふれ、自分らしくわたしの未来を切り拓くことができるまち」



市では、この基本理念に基づいて、こども・若者の皆さんの笑顔と幸せを一番に考え、未来に向かって自分らしくのびのびと成長していくことができる地域づくりに取り組みます。

関市こどもまんなか計画 本編はこちら▶



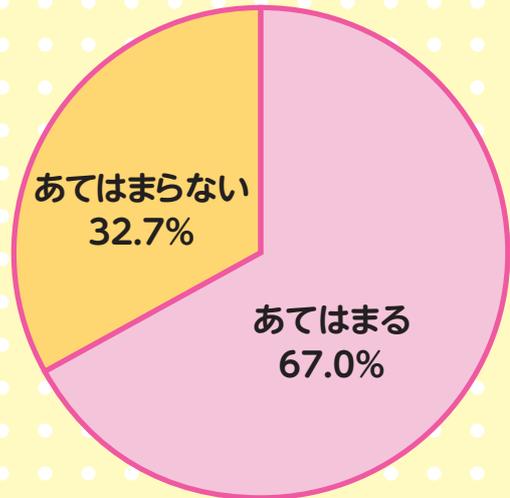
こども・若者に聞きました あなたはどう思う？

これからの社会を担うこどもたち、今を生きるこどもたちは何を思っているのでしょうか。

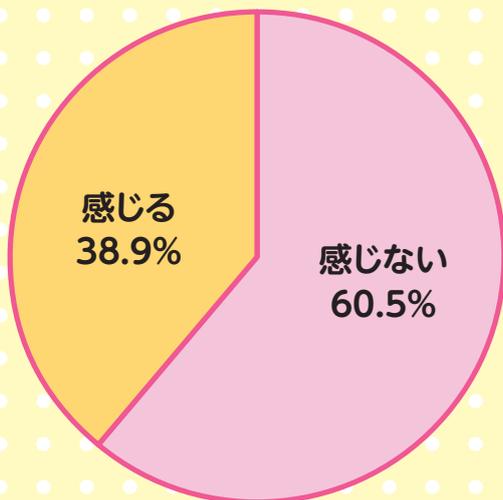
関市に住むこども・若者を取り巻く環境をテーマに、こども・若者の皆さんにアンケートを実施しました。

※令和6年度実施 高校2年生・中学2年生対象
※数値は未回答などがあるため、合計100%にはなりません。

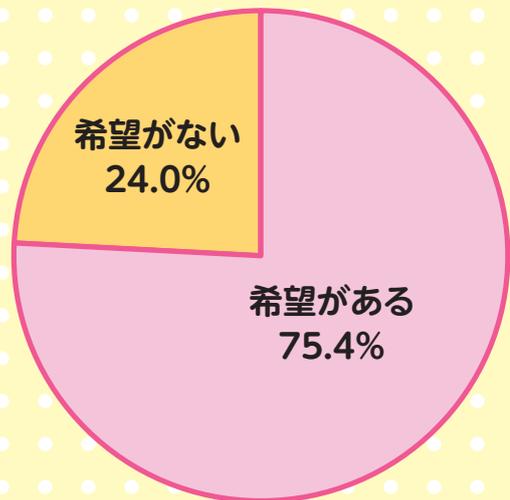
Q1.今の自分が好きだと思うか？



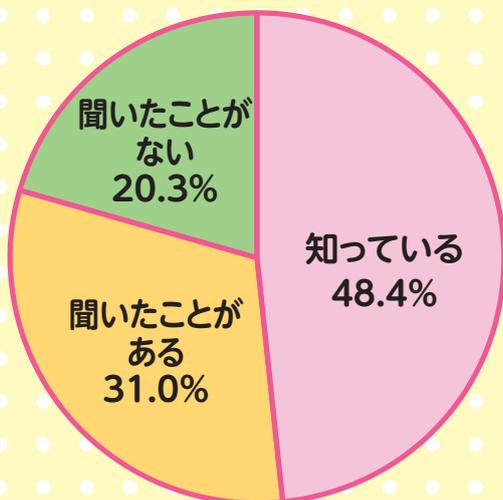
Q2.自分は役に立たないと強く感じるか？



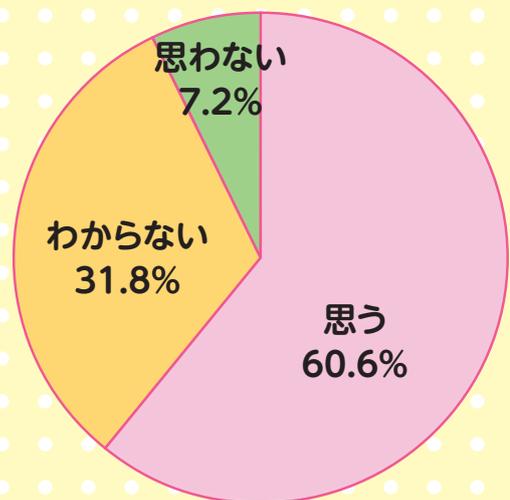
Q3.自分の将来に希望があるか？



Q4.「こどもの権利」を知っているか？



Q5.こどもの権利が十分に尊重されていると思うか？



こどもたちが自分らしく生活できる環境やこどもたちが将来に希望を描けるようなサポートが、まだ十分ではない状況にあります。こども・若者の意見を聴き、きめ細やかなサポートや環境整備を進めることが求められています。

こども・若者の権利がしっかりと守られ、誰もが安心して暮らせる社会をつくるためのルールが必要です。そのため市では、「こどもの権利条例」の令和8年度制定を目指しています。この条例ができることで、誰もがこどもの権利をより大切にし、みんなで支え合う温かいまちづくりが一層進んでいきます。

各年代でいまどんなことを思っているのかインタビューしました

関市がこどもたちのために取り組んでいることをとてもうれしく、頼もしく思います。こどもの権利条例で、こどもたちが成長していく中で未来に希望を持てる社会になることを願っています。

市や地域がこどもたちの明るい未来を支え、希望にあふれた環境づくりを進めてくれることを期待しています。



関高等学校2年
そのだ【ゆう】と
園田悠斗さん

選択授業で権利を学んだ

はじめは、こどもまんなか社会やこどもの権利条例のことを全く知りませんでした。勉強していくうちに、こどもたちのために考えてくれる大人がいることを知り、うれしく思いました。条例に携わることができる貴重な機会なので、私たちこどもの立場から意見をたくさん出して、より良い社会になるように、関わっていきたくです。そしてこどもが思ったことを大人に伝えることができ、少しでもその要望が実現できる社会になってほしいと願っています。

子育て中です



ありさ
依澄さん
アリ紗さん

海外研修のために勉強中

私のように夢を持つこどもたちを市が応援し、こどもまんなか社会を目指していることは、とても心強いことだと思います。大人の考えだけでなく、こどもの視点を取り入れて社会を考えることができるのは、関市をよりよい地域に発展させるうえで、とても大切だと感じています。こどもの権利条例でより多くのこどもたちが活躍できる場が増えると思います。



下有知中学校2年
やまもとみずき
山本瑞姫さん

こどもまんなかミーティング

高校生・大学生年代による「こどもの権利を考える会」

高校生・大学生の皆さんと一緒に、普段の生活の中にある「こどもの権利」について話し合い、考える機会とします。若者の皆さんの思いを形にし、市民共通の思いとして、そして未来のこどもたちの希望のために一緒に考えましょう。

日時 8月30日(土) 午前10時~正午

場所 せきてらす じゅうなひろま

内容 こどもの権利に関するワークショップ、グループ発表

対象 高校生・大学生(市内在住・在学)

申込方法 二次元コードから事前申込み

申込期限 8月15日(金)まで



こどもまんなかせきしを目指して ～こどもの権利条例を市民と共に創ります～

こどもまんなか社会の実現、こどもの権利条例の制定に向けて、

市が「こどもまんなか社会に向けて取り組む」と表明することで、市内全体でその目的や方法はどうか話し合えることが素晴らしいと思っています。

こどもの権利条例ではこどもたちが自分の気持ちを表現しやすい仕組みができればいいなと思います。こどもと対等の立場で対話する大人が増えてその結果、こどもも大人も誰もが自分の想いを表現し、対話し合いながら自分らしく過ごせる関市になったら嬉しいです。

こどもと大人が対等に



関市子ども・子育て会議委員
はしもと かな
橋本佳奈さん

関市の観光PR動画 つくりました



桜ヶ丘小学校6年
てらくら ゆう
寺倉悠生さん

関市のことをもっと知ってもらいたくて、5年生の時にみんなで観光PR動画をつくりました。いろんな人に協力してもらったおかげで、私たちだけの特別な動画ができました。みんなの笑顔がたくさん詰まっているので、たくさんの人に見てもらいたいです。動画を作ったときのように、こどもたちが頑張っていることを関市に住むみんなが応援して協力してくれるとすごくうれしいです。

こどもまんなか社会へのルールづくりを共に進めましょう

条例制定に向けて、みんなで考える場が大切です。講演会やワークショップなど、さまざまな方法で「こどもまんなかミーティング」を開催し、皆さんと共にルールづくりを進めていきます。こどもまんなかミーティングの今後の予定はこちら▶



こどもまんなかミーティング

こどもの権利を考える講演会

映画「みんなの学校」の舞台、大空小学校の初代校長である木村泰子先生を講師に迎え、「こどもまんなか社会」や「こどもの権利」とはどういうものか、こども・若者のために大人はどう関わるべきかなどを考えます。

日時 7月12日(土) 午後2時～3時30分

場所 わかくさ・プラザ 多目的ホール

定員 350人

参加費 無料

申込方法 二次元コードから事前申込み

申込期限 7月10日(木)まで



大阪市立大空小学校 初代校長
きむら やすこ
木村泰子さん